

柏葉脳神経外科病院広報誌

特定医療法人
柏葉脳神経外科病院

札幌市豊平区月寒東1条15丁目7-20
TEL.011-851-2333

かしわば

vol.50
2018.11

へき地医療に高度医療を

情報通信技術の活用で 急性期脳卒中に挑む

柏葉脳神経外科病院 院長 寺坂 俊介



へき地医療に高度医療を 情報通信技術の活用で 急性期脳卒中に挑む

ICT

情報通信技術
Information and
Communication
Technology

情報通信技術（ICT）の発展は、医療の現場にも大きな変化をもたらしています。特に、脳卒中の治療には迅速で正確な診断が欠かせないことから、「診断・治療までの時間短縮」を確実にするツールとしてICTの活用が期待されています。

脳卒中は 早期の診断・治療が重要

脳卒中は早期に治療を開始できれば、死亡もしくは要介護が減少することが報告されています。脳卒中の約7割を占める脳梗塞は脳の血管が詰まることで発症しますが、早期に正確な診断を行い、4.5時間以内であれば「t-PA」という血栓溶解剤が使用でき、8時間以内であれば、血栓回収療法で血栓を物理的に除去する治療を行えます。

当院では脳卒中治療に24時間365日対応できるよう、医師や検査技師、看護師の専門チームが受け入れ態勢を整えています。

脳卒中患者の種類別割合



厚生労働省「平成26年患者調査」から作成

柏葉脳神経外科病院 院長

寺坂 俊介



【診療科】 脳神経外科

【得意分野】 脳腫瘍の外科治療、頭蓋底手術、
脳血管・脳外科全般

【認定医・専門医】

日本脳神経外科学会専門医、難病指定医、
小児慢性特定疾病指定医

ICTの活用で 遠隔地でも迅速な診断が可能

ところが、脳卒中の専門治療を提供できる医療機関は都市部に限られており、へき地では専門性の高い医療を十分に提供できず、地域住民が大きな不安を抱えているのが現状です。

そこで当院では、ICTを活用した診断システムを利用し、遠隔地の医療機関と患者情報（検査画像）を共有しながら、脳卒中の早期診断が迅速に行える体制を整えたいと思って

柏葉脳神経外科病院が現在取り組んでいる 遠隔医療プロジェクト



緊急時の診断に必要な検査画像を速やかに共有し、治療開始までの時間を早めたい



遠隔地の医療機関に脳梗塞疑いの患者さんが救急搬送されてきたら…



画像を瞬時に 閲覧・共有

遠隔地の医療機関と柏葉脳神経外科病院をつなぐ通信システムを使い、検査画像（CTやMRI画像）を医師同士がリアルタイムに閲覧・共有する



遠隔地 医療機関 の担当医



- 専門医に治療の判断を委ねることができる
- 適切な治療を患者さんに提供できる



当院 専門医



- 言葉だけでは分からない画像所見の情報が得られる
- 脳梗塞発症後8時間以内なら、血栓回収療法が適応になるため、早期の段階で診断したい



後遺症を軽減できる血栓回収療法を迅速に提供



遠隔地から救急車で移動している間に、柏葉脳神経外科病院で血栓回収療法の準備を整え、到着後すぐに治療を開始する



地域医療を高度化

一人でも多くの脳卒中の患者さんの救命と後遺症軽減を実現することで、地域医療の高度化に貢献する

います。

このシステムを用いることで、たとえ、脳卒中を発症した患者さんがへき地に住んでいても、当院にいる専門医が検査画像を診て「すぐに札幌へ運ぶべきか」「少し様子を見るべきか」の治療方針を迅速に示すことができます。

当院には「IT推進室」があり、新システムの設計や運用

のスキルを有しています。すでに、来年の稼働を目指して取り組みを進めているところです。もし、遠隔地の医療機関とネットワークの運用が可能になれば、「一人でも多くの患者さんの救命につながるだけでなく、医療情報の病院間共有で地域医療が高度化する」と考えています。

未来を見据え、千年カルテプロジェクトに参加

当院は日本医療ネットワーク協会が取り組んでいる「千年カルテプロジェクト」に参加することを決めました。電子カルテなどの医療・健康に関する記録を全国規模で一元的に集めるEHR（Electronic Health Record）の構築によって、個人の記録を患者が参照するほか、医療機関同士の情報連携や、匿名化した大規模データ群を研究開発などで2次利用することなど

を目指すものです。

当院でも、救急搬送されてきた患者さんの過去の診療状況、検査値などの情報を閲覧できれば、脳卒中の迅速な診断やより適切な治療につながります。また、健康寿命延伸や臨床研究の活性化・高度化を目指すことにもなると期待しています。



災害医療体制のさらなる充実を目指しています

この地域の医療を継続することが
私たちの役目です

停電中も全ての救急車搬入傷病者を受け入れました

9月6日の北海道胆振東部地震によって被害に遭われた皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興をお祈りいたします。

地震発生直後、患者さんの安全確保や緊急患者さんの受け入れを行うために、病院には職員が続々と集まってきま

した。自家発電が機能したものの使用量には制限があったため、患者さんのモニタやナースステーションの照明を優先させました。停電が続く中も薄暗い院内で診療を継続し、全ての救急車搬入傷病者を受け入れました。

今回の経験から、自家発電の燃料や食料、医薬品などが調達できなくなる事態を想定した体制の構築が平時から必要であると感じました。どんな時でも地域医療を支えられる病院として機能できるよう、当院の災害医療体制を整備したいと思っています。
(院長 寺坂俊介)

外来診療予定表

	診療科	月	火	水	木	金	土
午前 受付時間 8:40 ~ 12:00	脳神経外科	金子理事長 徳田副理事長 丸一	金子理事長 丸一 非常勤医師	徳田副理事長 寺坂院長 山内 非常勤医師	金子理事長 徳田副理事長 藤本	金子理事長(新患) 徳田副理事長 非常勤医師	交代制
	脳神経内科	畑	畑	畑	畑	吉田	畑 ※隔週
	精神科		掛川	掛川	掛川		
	循環器内科	非常勤医師 ※11:30までの受付	平尾	平尾		平尾	
午後 受付時間 13:30 ~ 16:30	脳神経外科	関口 藤本 山内 高宮	寺坂院長 藤本 非常勤医師	藤本 非常勤医師 高宮	寺坂院長 山内 高宮	山内 関口	
	精神科		掛川	掛川	掛川		
	循環器内科				平尾		

※緊急手術・学会などにより、ほかの医師による代診または休診となる場合があります。※交代制医師の予約はできません。ご理解とご協力をお願いいたします

私たちの考えていること

柏葉脳神経外科病院

病院の理念 私たちは、安全で安心いただける医療のサービスに徹し、患者さんの幸せを守ります

病院の基本方針

- 患者さんにとって、思いやりのある最善の医療に全力をつくします
- 医師とスタッフによる説明と、患者さんの理解と選択に基づく医療を実践します
- 患者さんの意志とプライバシーを尊重します
- 医療従事者として、常に、豊かな人間性と技術の向上をめざします
- 救命・救急医療から心と体のリハビリテーションまで、高度な脳の専門病院をめざします
- 地域医療機関との強力な連携をはかり、よりダイナミックな医療のサービスを提供します

患者さんの権利

- 患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- 自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- 自分の病気・治療・予後について知る権利があります
- 治療について承諾・拒否する権利があります
- 自分の診療について、他医師の意見(セカンドオピニオン)を得る権利があります
- 自分のプライバシーを守る権利があります
- 公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- 病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります

柏葉脳神経外科病院 診療科目 脳神経外科・脳神経内科・精神科・循環器内科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

【診療時間】 月～金 9:00～17:00 / 土 9:00～12:00

外来診療の受付時間 ☎011-859-5636 (月～土)		
脳神経外科	平日	8:40～16:30
	土	8:40～12:00
脳神経内科 【予約制】	平日	8:40～12:00
	土(隔週)	8:40～12:00
精神科【予約制】	火～木	8:40～16:30
循環器内科 【予約制】	月	8:40～11:30
	火・水・金	8:40～12:00
	木	13:30～16:30

脳ドック【予約制】 ☎011-851-2333 (月～土)		
Aコース	月～金(午後)、土(午前)	
Bコース	火・木(午後)、土(午前)	
Cコース	火・木(午後)、土(午前)	

専門外来【予約制】 ☎011-859-5636 (月～土)

- 脳動脈瘤外来…火曜 午後
- もの忘れ外来…電話でご相談ください
- 脊髄外来(しびれ・痛み)…月曜 午後
- 睡眠時無呼吸外来…電話でご相談ください



救急 救急患者さんは、診療日・診察時間を指定病院 問わず24時間診察いたしております